



季刊

弥生の出雲王に出会える

出雲弥生の森博物館だより

IZUMO YAYOI NOMORI MUSEUM



マスコットキャラクター
よすみちゃん

第3号 (2011年10月)

インフォメーション

ミニ企画展

「出雲を掘る 第二話

井戸からのぞく古志のくらし」

ただいま開催中!

10/15(土)~12/12(月)

9時~17時(入館16時30分まで)

(火曜休館) *観覧無料

井戸は、私たちの生活に不可欠な水を得るための設備です。

その歴史は古く、日本では弥生時代から掘られ始めます。出雲市内の古志遺跡群からも、弥生時代から近代におよぶ井戸が多数発見されています。

このミニ企画展では、実際に出土した木製の井戸の枠や出土品を約70点展示します。今回の展示を通して、古志地区、ひいては出雲市の昔の人々の暮らしをかいま見ていただければ幸いです。



ケヤキをくりぬいた井戸
(下古志遺跡・鎌倉時代)

当館マスコットキャラクター

「よすみちゃん」

ミュージアムキャラクター

アワードで日本一に輝く!

8月24日、当館のマスコットキャラクター「よすみちゃん」が、全国の博物館・美術館のキャラクター人気投票「キャラクターアワード2011」で日本一の栄誉をいただきました!

この人気投票は全国の博物館・美術館を紹介するサイト「インターネットミュージアム」が主催されたもので、2回目となる今年のアワードは全国約7,800施設から無作為に選ばれた37施設のキャラクターで行われました。

たくさんのご声援
ありがとうございました!



ミュージアムキャラクターアワード
2011結果

優勝 よすみちゃん(出雲弥生の森博物館)

1,521票

2位 ジンジャくん(小杉放菴記念日光美術館)

1,046票

3位 さがわん三兄弟(佐川美術館)

935票

(<http://www.museum.or.jp/museum-chara/2011>)



「日本一」のPRたすきを身に付けて、これからがんばります!



9月に「出雲大社勢溜り」で開催された観光客をお迎えするイベントにも登場!

博物館講座・イベントのご案内

出雲弥生の森博物館

職員リレー講座(秋の陣)

第1回

『古事記』序を読む

～神話と編纂の背景を考える～

11/6(日) 14時～16時

【講師】高橋 周(博物館研究員)

第2回

「井戸からのぞく古代の出雲」

11/20(日) 14時～16時

【講師】三原一将(博物館主任)

第3回

「イギリス人もびっくり!」

～上塩冶築山古墳発見秘話～

12/11(日) 14時～16時

【講師】渡邊貞幸(館長)

2011 古代出雲歴史探訪

ミステリーウォーク参加者募集

斐川町の荒神谷史跡公園スタート後、神庭岩船山古墳、御井神社、荒神谷博物館などのチェックポイントを巡り、クイズを解きながら楽しくウォーキング。

日時 11/26(土)

9時～13時頃(雨天決行)

集合 荒神谷史跡公園 管理棟

(受付9時～10時)

* 受付後各自スタート

参加料(当日持参)

一般 500円

高校生以下 100円

コース 約11km

豚汁・おにぎりサービスあり

参加賞、クイズ賞品あり

準備品 箸とお椀、帽子、水筒、タオルなど

雨天は雨具

申込期限 11/15(火)

申込方法

職員リレー講座、ミステリーウォークは出雲弥生の森博物館まで

電話でお申込みください。

第46回出雲市無形文化財発表会

無形民俗文化財に指定されている市内の神楽、獅子舞等の上演。飲食・特産品コーナーあり。

日時 12/4(日)

10時～16時

会場 スサノオホール

(出雲市佐田町反辺1747-4)

入場料500円(前売400円)

中学生以下無料

プレイガイド

出雲弥生の森博物館、荒神谷博物館、市役所各支所地域振興課ほか

問合せ 出雲市文化財課

(電話)0853 21 6893

特集 研究ノート

いにしえから続く

ライフライン「井戸」

出雲市内を歩いていると、今でもたまたま井戸を見かけることがあります。水道が普及するまでは、井戸はライフラインの主役でした。

神戸川にかかる古志大橋から出雲西高校にかけての平地部、そこに広がる古志遺跡群では、これまでの発掘調査で、約160基もの井戸跡が発見されています。掘られた時期も弥生時代から近代におよび、これらをつぶさに見ていくと、古志地区における井戸利用の歴史がわかります。

井戸は、地面に穴を掘って地下水を汲み取れるようにした設備です。汚水の流入を防ぐため地上に設ける井桁(いげた)、穴の崩壊を防ぐために設ける井戸側(いどがわ)、地下水を溜める水溜(みずだめ)の三つの部分で構成されます。発掘調査では地下部分の井戸側や水溜が出土しますが、その種類は木組、丸太くりぬき、石組など様々です。

今回のミニ企画展では、実際に

出土した木製の井戸側などを展示するほか、使い終わった井戸を埋める際のマツリなどを、発掘調査時の写真を交えて分かりやすく解説します。

1918年(大正七)に、来原水源地从り今市町に引水したのが市内で初めての水道です。それから90年が経過した2008年(平成二〇)現在、出雲市の水道普及率は九七・六%。今でもなお二・四%の方々は井戸などから生活用水を得ているようです。弥生時代から利用され続けている井戸は、現在においてもライフラインとしての役割を担っているのです。



縦板を組み合わせた井戸
(下古志遺跡・中世)

(出雲市文化財課 三原一将)

発掘調査の現場から

「鰐淵寺（等澗院南地区）」

（出雲市別所町）

鰐淵寺は、古代以来、浮浪の滝を中心とする修験の道場として発展してきました。創建は、594年（推古二）、智春（ちしゆん）上人の祈願により推古天皇の眼の病気が治ったことから、同天皇により建立されたと伝わっています。中世の文書には、鰐淵寺が「国中第一之伽藍」と称される一方、出雲大社は「国中第一之霊神」と呼ばれ、両者が対を成して出雲国を代表する存在であったことがうかがえます。

2009年度より島根大学を中心に文献史学・建築史学・美術史学・地質学・考古学など各分野からの総合的な調査・研究が実施されており、その関連として昨年度から出雲市文化財課が境内地の発掘調査を実施しています。

今年度調査しているのは、鰐淵寺境内地南側の等澗院南地区です。これまで僧坊などについて、文献的な記録のない平らな面を今年の

5月から10月にかけて発掘調査しました。

結果、十数か所の柱の痕跡が見つかり、何らかの建物があったことがわかりました。また、少なくとも3度にわたって造成され、南側の斜面に石垣が積み重ねられていることもわかりました。



建物の柱の痕跡

中国製の天目茶碗、青磁、青白磁など陶磁器が大量に見つかりました。12世紀以降16世紀まで境内地として使用されていたようです。



青磁や青白磁の出土状況

（出雲市文化財課 石原 聡）

出雲市のお宝紹介

（指定文化財）

- 「紙本墨画龍図襖」（市指定）
- 「紙本著彩虎図襖」（市指定）

出雲市大社町杵築西に浄土宗松林山誓願寺（せいがんじ）（三世住職・原量範）があります。

この本堂には、左に猛虎、右に雲龍が二面で描かれた迫力のある大襖絵があり、堂内を荘厳に飾っています。作者は江戸後期、明治の絵師・堀江友聲（ほりえゆうせい）。花鳥画を得意とし、その華麗で庶民的な作品は当時の世相に受け入れられ、地方画壇を隆盛に導きました。

この襖絵は、出雲を訪れた友聲が誓願寺に泊り込んで描き残したとされる大作で、天保年間（一八三〇～一八四四）の製作と考えられています。墨質による濃淡の表現が巧みです。

【堀江友聲（一八〇二～一八七三）】
現在の雲南市大東町生まれ。雅号は雲峰、友声など。京都で山本探淵（たんえん）に師事する。
狩野派を学び、中国の宋・元・明の名画や日本の諸名家の筆法を研鑽、各地を遊歴した。



紙本著彩虎図襖

紙本墨画龍図襖

博物館アテンドコーナー

テーマ「博物館の魅力伝えます」

(久家)みなさんこんにちは！

前号から始まりました博物館アテンドコーナー。

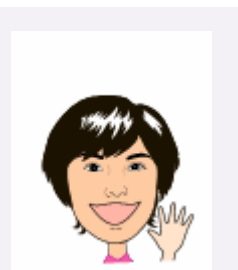
今回のテーマは前回に引き続き「博物館の魅力伝えます」の第2弾です。前回だけでは語りつくせなかった博物館の魅力を紹介していきたいと思えます。

進行は引き続き久家が担当いたします。

個性あふれるアテンドを紹介！


(久)博物館の魅力といえば、やはりお客さまをお迎えするスタッフ。ここで博物館を陰で支えるアテンドを紹介していきます。全員は無理なので3人までかな。アテンドのみなさん、個性あふれる3人といえは？

(ア)OK！久家さん。この3人がみんな選んだ、個性あふれるアテンドです。似顔絵で紹介していますので、博物館で本人を当てていただくと嬉しいですね！



岡田さん

いつも元気いっぱい、みんなのお母さんの存在。話をしていると、こちまで元気になりますよ！



山田さん

上品さと大胆さを兼ね備えた心優しいムードメーカー。笑顔の絶えないPR上手さんです！



片岡さん

当博物館の癒し系で、子ども達の人気者。その笑顔に癒されること間違いなし！

古代鏡とまが玉作りでものづくり体験はいかが？

(久)次に紹介したいのがこれ、お客様に人気の古代鏡作り(500円)まが玉作り(300円)です。

鏡づくりは低い温度で溶ける専用の金属を型に流して、その後はひたすら「磨く」という作業をしていきます。地味な作業と思われるかもしれませんが、だんだん自分の顔が映ってくると、皆さん大変喜ばれます。

この鏡、実は出雲市の山地古墳(神西沖町)から出土した鏡をモチーフにしたオリジナルのものです。



まが玉はピンクと白それぞれ濃淡があり、模様が入っているものもあります。



古代鏡は、顔が映るほどピカピカに輝きます。手鏡にされてはいかがでしょう。



まが玉も弥生の森の王墓から出土したオリジナル。やわらかい石で、ピンクと白を用意しています。一見難しそうですが、線にそって削って磨いていくときれいに仕上がります。私たちスタッフがお手伝いします。ぜひ体験してね。(団体要予約)

前号のよすみちゃんクイズの答え
Q よすみちゃんの好きな食べものは？
(答え)どんぐり
* 秋の弥生の森には7種類のどんぐりが落ちていきます。色々な形のどんぐりを集めるのも楽しいですよ！

各種講座・講演会は、当館へ電話・FAXでお申込みください。(講座・氏名・住所・連絡先)申込多数の場合お断りすることがあります。

(発行)出雲弥生の森博物館 2011年10月
〒693-0011 島根県出雲市大津町2760
(TEL)0853-25-1841 (FAX)0853-21-6617
(e-mail) yayoi@city.izumo.shimane.jp
http://www.city.izumo.shimane.jp/yayoinomori
入館料/無料(特別展等観覧料を除く)
開館時間/9:00~17:00(入館16:30まで)
休館日/火曜日(祝日の場合翌日)・年末年始